

精神認知機能領域の作業療法

-脳科学と社会科学の統合-



講師 山根 寛(「ひとと作業・生活」研究会主宰)

申込 <http://www.gene-llc.jp/>

東京会場 中央労働基準協会ビル 4階 ホール
2016年8月 7日(日)10:00~16:00(受付9:30~)

大阪会場 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)10階
2016年8月28日(日)10:00~16:00(受付9:30~)

◆セミナーのねらい

今、医療・リハビリテーションは重要な転換期にあり、作業療法のあり方が問われている。従来の身障・精神・発達と障害で分類されていた領域を超えて、これからの精神科領域の作業療法の基本について学ぶ。

◆講義概要

生活様式の変化や医療の進歩により疾患構造が変わり、医療やリハビリテーションは大きな転換を迫られて久しい。作業療法も従来の身体障害、精神障害、発達障害といった障害領域による対処が行き詰まり、岐路にたっている。この岐路の中で、脳科学と社会科学の統合により、生活行為という具体的な活動を通して生活を支援する作業療法の視野が開かれようとしている。精神科作業療法とは何か、あらためて作業療法の源流からその流れを辿り、なぜ、どこを流れ、これからどこへ向かえばいいのか、精神科作業療法のありかたの基本を見直す。

序 ころの病いとからだの病い

前半 医療やリハビリテーションの転換期
日本の精神科作業療法の歴史的
作業療法の源流
今行われていることの見直し

後半 作業療法の原理(特性、やくわり、手段、機能)
社会脳という視点
治療における作業療法の特性と位置づけ
君が変わらなければ何も始まらない